

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	保土ヶ谷公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（横浜川崎治水事務所）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 実施計画の提案に基づき、「スポーツとのふれあい、健康づくりの発信」および「みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり」等の取り組みを実施した。</p> <p>< 2 収支状況 > 収入支出については、光熱水費の節減および簡易な施設修繕等を直営で行うなどの努力により支出を抑えることができ、対収支計画比で収支差額9.0%の増といった良好な収支状況であった。</p> <p>< 3 利用状況 > イベント活動などにも積極的に取り組みを行った結果、今期は利用者数が前年対比でわずか2.7%減少したものの、目標対比で16.5%増加した。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > < 5 苦情・要望等 > 利用者満足度調査の結果や苦情・要望等に対する対応状況も良好である。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 事故等が発生したが、適切に対応している。</p> <p>< 今後の方針等 > 今後も引き続き地域等と連携しイベント等の開催による積極的なサービス向上を行うとともに、維持管理面においては、特に日常的に目の行き届かない斜面地樹林等の樹木管理に一層努めてもらいたい。</p>

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツとのふれあい、健康づくりの発信 ①供用時間の拡大の検討など、更なるサービスの向上 ②ニュースポーツ講座や健康作り講座などの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ①運動施設の供用時間の拡大によるサービス向上を図るため、H25年度5月より体育館の夜間利用枠拡大を開始した。利用者及び地域運動施設等への広報を強化した結果、利用稼働実績も高く、利用者数増加にもつながった。 ①オープン3年目となったプールは、期間中で3万2千人を超える利用者数となり、昨年度実績を超える結果となった。 ②公園利用者の健康づくり促進を図るため、ギャラリー2階多目的ルームでは「ヨガ教室」を開催。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツとのふれあい、健康づくりの発信 ③プロスポーツ関係者との連携によるスポーツとふれあいの場の提供 ④スポーツや健康の企画展示、講演会でのスポーツ文化の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ③サッカー場では、芝生ふれあいサッカー教室(5月)、芝生いきいきヨガ教室&芝生体験(4月)、ラグビー場ではラグビーフェスティバル(5月)などを開催し、スポーツを体験し健康づくりにつながる機会を提供した。 ④ギャラリーでは、1949年に完成した硬式野球場60年を記念し、保土ヶ谷球場のあゆみ、桐光学園松井投手の活躍、桐蔭学園土屋監督勇退を中心に高校野球写真展を7月の高校野球開催時期に同時開催し、多くの来場者となった。 ④アマチュア芝生管理教室(全3回のうち7月・9月)では、大学教授や日本芝草学会理事による芝生雑草入門や季節の芝生管理マネジメント等の講義と実地体験を通じて、サッカー場天然芝を題材にしたスポーツ文化の発信を行った。
3 (指定管理業務)	<ul style="list-style-type: none"> ●みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり ①動植物や景観にも配慮した斜面樹林の保全 ②「花のプロムナードづくり」による、園路沿いの空間の季節の草花による修景 	<ul style="list-style-type: none"> ①昨年度公園で実施した樹木調査結果に基づき、緊急性のある園内外周部の斜面樹林地等の危険木や枯損木処理を実施した。 ②「花のプロムナードづくり」の一つとして、今年度新規事業で噴水広場では「サンパチェンスの噴水苑づくり」イベントを一般参加を募り開催。サンパチェンスは気温低下が望まれる植物で、水質浄化能力、大気浄化能力、二酸化炭素吸収能力が高く、「環境浄化植物」と呼ばれており、環境保全の普及に努めた。
4 (指定管理業務)	<ul style="list-style-type: none"> ●みどりを守り、育て、活かした公園の魅力づくり ③ウメ(梅園)やサクラなどの花木の健全育成 ④高木化等の進んだ樹木の健全育成と倒木などの事故防止策の推進 ⑤斜面樹林を活用したプレイパークなどの場の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ③梅林の健全な育成と景観保護を促進するため、昨年度から3か年の中期計画を策定し、樹木医指導のもと約100本の夏季剪定を適切に実施した。 ④園内の伐採竹を活用し、6月には竹細工教室の開催、7月には近隣幼稚園児による七夕の飾りつけを行い、また夏休み期間には多目的スペースでのクラフト材料を使った夏休み工作教室を開催し、園内のみどりを活かした利用促進を行った。 ⑤プレイパークは運営に携わるメンバーも増え、昨年度に引き続き安定的に開催(月1回程度)ができるようになり、園内の斜面樹林や間伐材を活用した遊びを中心に実施した。
5 (指定管理業務)	<ul style="list-style-type: none"> ●県民に親しまれ、交流の場となる公園づくり ○地域と一体となった、親しまれるイベントの開催 ○公園展示資料館を活用したパークセンター的な機能の提供 ○梅まつりや仔ヨウのライトアップ、森の遊び体験等のイベントを継続、発展させた地域に親しまれる公園づくり ○安心、安全、快適に利用できるレクリエーション空間の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月最初の土曜日、定期的で開催するフリーマーケットは来園者の散策の楽しみの一つとなり、絶え間なく行っているギャラリー展示も加わって、運動だけではない新たな保土ヶ谷公園の魅力を生み出し、どちらも来園者の交流の場として定着している。 ●8月最後の土曜日に開催したキャンドルナイトでは、池流れの魅力を最大限に活用し、約5000個を超えるキャンドルを流れの上から下へ埋め尽くすように設置し、点灯されたキャンドルの壮大なスケールや和太鼓、炎舞者によるパフォーマンスが来園者から大好評であった。 ●秋のちびっこ祭りでは、県工事のため今年度はピクニック広場に場所を移し、ロープ遊びや木登り体験など自然の中の遊びと、昔ながらの遊びを子供たちに味わってもらうため紙芝居や竹馬、駄菓子を用意し、地域や来園者に喜ばれ親しまれるイベントとなった。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	6月3日	○	○	○	無	
5月	6月10日	7月1日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月31日	○	○	○	無	
7月	8月9日	9月3日	○	○	○	無	
8月	9月10日	10月3日	○	○	○	無	
9月	10月10日	11月8日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計	うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)		170,290	56,809	42,272	269,371	269,371	0	
年度計画	前年度	188,424	47,300	57,500	293,224	293,224	0	
	上半期	105,688	30,700	35,600	171,988	171,988	0	
	下半期	82,736	16,600	21,900	121,236	121,236	0	
	今年度	188,232	47,800	58,000	294,032	294,032	0	
	上半期	99,097	30,400	36,200	165,697	165,697	0	
	下半期	89,135	17,400	21,800	128,335	128,335	0	
上半期実績	4月	7,682	3,387	5,749	16,818	14,062	2,756	
	5月	5,922	5,093	6,203	17,218	13,854	3,364	
	6月	35,233	3,762	4,524	43,519	42,529	990	
	7月	10,331	7,362	7,316	25,009	22,430	2,579	
	8月	9,841	7,781	6,455	24,077	22,824	1,253	
	9月	30,088	3,882	5,411	39,381	35,470	3,911	
	上半期合計	99,097	31,267	35,658	166,022	151,169	0	
	対収支計画比	0.0%	2.9%	▲ 1.5%	① 0.2%	② ▲ 8.8%	③ 9.0%	
参考	前年度 上半期実績合計	105,688	30,653	37,586	173,927	149,024	24,903	
	対前年度 上半期実績比				▲ 4.5%	1.4%		

※その他収入の内容 都市公園の駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	62,016 人	59,424 人	104.4 %
5月	77,855 人	78,236 人	99.5 %
6月	41,395 人	38,045 人	108.8 %
7月	92,251 人	94,468 人	97.7 %
8月	78,028 人	84,761 人	92.1 %
9月	59,624 人	67,320 人	88.6 %
合計	411,169 人	422,254 人	97.4 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	411,169 人	422,254 人	353,000 人	① 116.5 %	② 97.4 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	411,169 人	422,254 人	353,000 人	16.5 %	▲ 2.7 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している
基準	半期ごと
	過去数年間平均

その他の場合の期間
その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	夏の猛暑によるプール利用者の増、および各種イベントへの参加者の増によるもの。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

<参考>

施設の最大利用可能人数

	硬式野球場	サッカー場	ラグビー場	駐車場			合計
定員(1日あたりの延べ人数)	14,817	5,370	4,736	781			25,704
年間利用可能日数	302	320	357	365			
最大人数	4,474,734	1,718,400	1,690,752	285,065	0	0	8,168,951
半期	2,237,367	859,200	845,376	142,533	0	0	4,084,476

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	61	45	6	6	1	119	106 (90.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 119 件

回収 119 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	1	5	1	0	0	7
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(2)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	わんぱく広場から市道への大量の雨水流出	豪雨による雨水流出が発生したため、側溝の土砂除去作業を実施した。
職員対応	テニスコート利用者より、マナーが悪い利用者への注意依頼	注意依頼が利用終了から数時間たった後であったため、職員は現場確認をできなかったが、職員の清掃管理は適切に実施している。
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **C**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
7月19日	プールサイドにガラスの破片が落ちており、利用者が歩行中に素足で踏んでしまい怪我が発生。	毎日の営業前のプール清掃時にはガラスの破片は発見されておらず、原因は不明。	被害者の治療費負担をし、プールの清掃管理、安全管理の徹底を再度図った。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		